フォトニュース

いながわ歴史ウォーク㉝

猪名川町の高札場跡

高札場とは、「法度」や「掟書」などを墨書した板（高札）を掲げる場所の事です。広く一般庶民に告知するために、通行の多い辻（交差点）や市場、村の指導者宅前などに設置されました。

平安初期には木や紙に書いて役所の壁や門に掲示した「壁書」があり、木札に法令を書いた「制札」のうち「禁制」は鎌倉初期からあります。

高札は江戸時代に最も盛んとなり、瓦屋根や柵、石垣が設けられたりし、許可なく触れることはできず、高札番が置かれることもありました。明治初年、5枚の高札を掲示した「五榜の掲示」を最後に廃止されました。

町内では、仁頂寺後谷と縄手添いの境の辻に「札場」跡があり、昭和30年頃まで、事件発生時などに消防団が立ち番をする場所でした。また銀山地区には、銀山橋の袂に安土桃山時代からといわれる高札場跡の石垣が残り、「五榜の掲示」の第一札を写した札が立てられています。

▲銀山橋の袂にある高札場跡

給食に郷土料理を

◀地域に根付いている食を子ども達に意識させ、郷土への愛着を育てていくため、給食センターでは町内のしし肉専門店の協力を得て、1月26日、町の郷土料理「ぼたん汁」を、幼稚園、小・中学校の子ども達3700人に配膳しました。献立表をみて、給食を楽しみに待っていた児童もいるなど、皆ふるさとの味を満喫しました。

無病息災を願う「とんど」

▲1月11日、北野地区で「とんど」が行われました。朝6時に消防団員が点火。まだ夜が明ける前の澄んだ空気の中、大きな火柱が天をつき、竹の弾ける音が辺りに響きわたっていました。

「とんど」は無病息災を願う行事として、小正月である1月15日前後に行われています。

大物のマスをたくさん釣り上げました！

◀1月17日、猪名川町観光協会の主催で新春マス釣り大会が実施されました。町内や近隣市町から37人の参加者があり、厳しい寒さの中、自然の中で自慢の腕を競い合い、楽しいひと時を過ごしました。

地元の農林産物でアイデア料理

▲1月26日、社会福祉会館で地元の農林産物に対する消費者の関心を高めることを目的に、猪名川町農林産物料理コンクールが盛大に開催されました。当日は、アイデアいっぱいの21作品を会場に集め、料理研究家の為後喜光先生をはじめ7人の審査員による厳しい審査が行われ、最優秀賞に猪名川荘苑在住の村山さんの「サツマ芋饅頭」が選ばれました。

鬼は外！福は内！

▶2月3日、猪名川保育園で節分の豆まき行事が行われました。赤鬼が現れると、「キャー」「怖い」など、保育室は蜂の巣をつついたような大騒ぎ。「鬼は外！福は内！」と掛け声をかけながら豆を投げつけたり、赤鬼と一緒にダンスをしたりと、園児達はそれぞれに行事を楽しみました。

子ども作品コーナー

楊津小学校

◀2年生は、1学期に国語で『スイミー』を学習しました。

みんなが力を合わせて作った、全員が主人公の、個性豊かな海の中の世界です。

2年生合同作品

（大きさ　縦1.6m　横3.3m）

R100 PRINTED WITH SOY INK 本紙は古紙配合率100%の紙に、植物性大豆油インキで印刷しています。10,950部作成し、1部当たりの単価は17.3円です。